

様式第6号（第18条関係）

令和6年度 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年 5月 15日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市清武町加納乙1047番地
名称 加納地域まちづくり協議会
代表者の氏名 会 長 中原 健一
電話番号 0985-84-0500

令和6年6月17日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (1) 事業実施報告・収支決算（見込）書
- (2) 事業別収支計算書
- (3) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (4) 備品管理台帳の写し
- (5) 地域協議会の意見書〔事業実施報告〕

(様式第5号)

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

清武地域自治区

加納地域まちづくり協議会

1 総括

当初計画していた12事業について、おおむね実施することができた。毎月の運営委員会では各部会の事業計画や事業内容について適宜に報告し合い、課題を共有しながら進めた。2月に実施した「加納地域総合防災訓練事業」では、約300名が参加し、近年多発する自然災害等に対する住民の意識の高まりを感じた。また、各事業内容に応じて中、高、大学の学生ボランティアを募集し、若い世代を事業に取り込むように努めたことで各事業が活気づいた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
基礎交付金	2,745,032	2,745,032	0	
繰越金	1,052,861	1,052,861	0	
自己資金	100	849	749	利息
協賛金	20,000	28,000	8,000	ひなたdeマルシェ開催事業協賛金
負担金	155,000	213,890	58,890	加納地区交流センター負担金 花の寄せ植え教室参加費
雑収入	100,000	114,875	14,875	ひなたdeマルシェ野菜売上金
合 計	4,072,993	4,155,507	82,514	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	防犯活動推進事業	14年目	650,000	591,765	▲ 58,235	
防	地域防災活動推進事業	14年目	230,000	207,060	▲ 22,940	
環	環境美化活動事業	14年目	150,000	67,114	▲ 82,886	
環	花いっぱい活動推進事業	8年目	180,000	189,187	9,187	
再	ひなたdeマルシェ開催事業	5年目	720,000	717,157	▲ 2,843	
再	イルミネーション事業	4年目	170,000	158,861	▲ 11,139	
健	いきいき健康推進事業	10年目	200,000	113,485	▲ 86,515	
伝	伝統文化継承事業	14年目	200,000	77,644	▲ 122,356	
伝	鯉のぼり掲揚事業	8年目	20,000	10,020	▲ 9,980	
他	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	15年目	200,000	138,210	▲ 61,790	
他	まちづくり計画推進事業	5年目	440,000	393,665	▲ 46,335	
他	まちづくり協議会管理運営事業	15年目	912,993	744,962	▲ 168,031	
繰 越 金				746,377		
合 計			4,072,993	4,155,507	82,514	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)	実施年数	14年目																		
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし																			
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり																					
目的 (期待される効果)	加納地域の住民が、安心して生活できる環境と地域の地盤を作ることを目的とする。																					
事業内容・手段	(1) 「防犯パトロール活動」や「見守り活動」等の実施 【時期】 通年 【場所】 加納地域15地区内 【参加人数】 延べ1,000名程度 【内容】 ・青色防犯パトロール車(リース車)による巡回活動を平日はほぼ毎日実施し、夜間も週に2回程度実施することができた。 ・青パト新規隊員を募集し、更新者も含めた講習会を5月と2月に2回実施した。巡回体制の強化を図り、現在86名の登録隊員に加え、自治会長、防犯部会員で活動している。 ・警察署や交番、地域安全協会、自治会等と協働で地域安全運動街頭キャンペーンを実施し、住民への防犯意識の向上を促した。青パト車のスピーカーによる街頭キャンペーン広報も行い、住民への呼びかけを行った。 8月(計25名)、12月(計21名)、4月と10月は天候不良のため中止。 ・自治会、青少年育成協議会、小中学校等と連携し、主要交差点等での愛の一声あいさつ運動を計12日間実施した。(4月・6月・9月・1月) ・7月のきよたけ郷土祭りにおいて青パト隊員16名がパレードに参加し、安全・安心のまちづくりを呼びかけた。																					
事業費	591,765円																					
対象者	加納地域住民																					
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>青パト巡回関連</td><td>500人</td><td>557人</td></tr><tr><td>街頭キャンペーン</td><td>60人</td><td>45人</td></tr><tr><td>あいさつ運動</td><td>150人</td><td>150人</td></tr><tr><td>その他</td><td>25人</td><td>43人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>735人</td><td>795人</td></tr></table> ※ 参加者数は年間延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	青パト巡回関連	500人	557人	街頭キャンペーン	60人	45人	あいさつ運動	150人	150人	その他	25人	43人	合 計	735人	795人
年 度	令和6年度	令和5年度																				
青パト巡回関連	500人	557人																				
街頭キャンペーン	60人	45人																				
あいさつ運動	150人	150人																				
その他	25人	43人																				
合 計	735人	795人																				
住民の声 (アンケートの結果等)	・アンケートは実施していないが、青パト車による見守り活動に対しては、子どもたちの反応もよく、安心して登下校できると学校や保護者からの感謝の声がよく届く。																					

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・小中学校、警察署との連携を密にし、情報交換に努めるとともに、青パト開始時に情報伝達を徹底し、被害予防と防止に努めた。	広報	⑤事業の周知	A	A	・あいさつ運動や見守り活動等の日程や内容について、各自治会や諸団体等にチラシを配布したり、SNSを活用して周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・あらゆる機会をとらえ、住民への協力依頼に努め、自治会役員、PTA、個人ボランティアの方々など地域ぐるみの活動推進が図られた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域まちづくりの推進母体としての意識のもと、各種行事に取り組み、妥当且つ十分な連携であった。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・パトロール活動や愛の一声あいさつ運動等における自治会役員や青パト隊、小中PTA、個人ボランティア等、良好な協力、連携が図られた。	事業継続の必要性			④ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞							
		・宮崎南署管内の青パト隊も合流した合同パトロール、街頭キャンペーンを行った。青パト車に小学生も同乗し、啓発活動を実施したが、大変好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞				対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞							
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞				対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞							

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり															
目的 (期待される効果)	災害発生時に対応できる防災経験や防災意識の向上を目的とする。															
事業内容・手段	(1)「防災講座」の実施 【実施時期】9月1日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール及びこども広場 【参加人数】105名 【内 容】 ・地域内の安全や防災について、HUG(避難所運営ゲーム)方式で各自治会ごとに災害発生時に伴う周辺住民の避難者をどのように受け入れ、避難所をどう運営するかを図上で訓練した。 ・こども広場において、火おこしを行い、ハイゼックス(炊飯袋)を使ったおにぎりや冷やしそうめんを参加者に試食してもらった。 (2)「地域総合防災訓練」の実施 【実施時期】2月9日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール及びこども広場 【参加人数】300名程度(一次避難参加者を含まず) 【内 容】 ・消防団の機材投入や防災体験、応急手当や給水車の体験等、防災に関する様々な知識や体験活動を実施した。 ・同一時刻一斉に地震発生を想定したシェイクアウト訓練を行い、住民の方には、ご自宅等で身の安全を守る行動を促した。その後、一時避難や指定避難所へ、各自治会や個人で避難訓練として参加していただいた。 ・会場では、地震体験コーナーや、AED、ロープ結索、段ボールベッド設置などの体験を行った。屋外では、消防車両の展示のほか、地震体験車、煙テント体験、水消火器訓練などを行い、様々な防災体験を実施した。 (3)防災スキルアップ研修会の実施 【実施時期】①7月11日(木) ②10月24日(木) 【場 所】加納地区交流センター・学習室及び和室 【参加人数】①18名 ②21名 【内 容】 ・防災部会員及び地域の防災士等に参加していただき、座学及び実技研修を行った。 ①女性消防団員3名より、救命措置(心肺蘇生法とAED)についての説明と実技指導を受けた。 ②防災コーディネーターによる災害時や日常生活の中でも生かせるロープ結索について実技指導を受けた。															
事業費	207,060 円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>320 人</td><td>204 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>124 人</td><td>110 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>444 人</td><td>314 人</td></tr></table> ※(1)～(4)の各事業の参加者数の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	320 人	204 人	スタッフ	124 人	110 人	合 計	444 人	314 人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	320 人	204 人														
スタッフ	124 人	110 人														
合 計	444 人	314 人														
住民の声(アンケートの結果等)	・HUGは、各地区ごとの地図上で具体的なシミュレーションができたとの感想があった。 ・地域総合防災訓練では、南海トラフ地震についての報道も多くなっていることから、興味深く参加したとの声が多かった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各自治会では実施しづらい大掛かりな防災活動の場としての期待感がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・機会あるごとにチラシの配布を行ったり、マチコミメールも活用したりした。
	②住民の参加	A	A	・近年は竜巻や地震の発生が続き、住民の防災意識も高まってきており、事業参加者も増えた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・防災事業を各自治会の活動の一つとして活用いただける機会となっている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域住民の防災意識の向上を図るためにも体験活動等の機会は貴重であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・アンケートでは、実際の災害場面でも活用できる内容であると好意的な意見が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会や団体等の協力もあり、防災講座や防災訓練等の充実を図ることができた。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・訓練会場を加納地区交流センターにしたことで、防災訓練への参加者も多くなり効果的だった。炊き出し訓練も好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

〔2〕環境に係る事業

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっばい　～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっばい　～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・環境美化意識の啓発 ・河川環境美化活動 ・ボランティア活動の推進															
目的 (期待される効果)	きれいで住み良いまちづくりを目指し、地域住民自らが率先して地域の美化に関心を持ち、実践できるような環境を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「環境パトロールや不法投棄の監視等」の実施 【実施時期】 環境パトロール（7月10日（水）のみ）　看板設置（通年） 【場　所】 加納地域15地区内（川沿い、山間部道路沿い他） 【参加人数】 パトロール4名、ごみ集積所看板設置5地区 【内　容】 ・地域の山間部道路沿いや八重川の堤防沿い等を中心に実施した。 ・不法投棄禁止の看板設置箇所を点検するほか、各自治会のゴミ集積所のごみ分別啓発看板を追加設置して、地域住民への啓発を行った。 (2) 「八重川堤防沿いの環境整備」の実施 【実施時期】 年2回　①6月16日（日）　②9月29日（日） 【場　所】 加納地域内八重川両岸 【参加人数】 ①127名　②146名 【内　容】 ・各自治会、諸団体、中学生ボランティア、清武地区ボランティア連絡協議会等と連携してごみ拾い活動と呼びかけ、多くの参加があった。 ・作業中は、青パト車による巡回アナウンスでごみの分別や環境美化をPRした。															
事業費	67,114円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>240人</td><td>219人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>38人</td><td>51人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>278人</td><td>270人</td></tr></table> ※年間の活動参加者の延べ人数				年　度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	240人	219人	スタッフ	38人	51人	合　計	278人	270人
年　度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	240人	219人														
スタッフ	38人	51人														
合　計	278人	270人														
住民の声（アンケートの結果等）	・台風後の八重川のごみが多くなっていた。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・環境パトロール等の実施により、八重川や線路沿い、山林等へのごみの不法投棄について把握している。	広報 事業の効果	⑤事業の周知	A	A	・チラシや広報紙による事業の案内や報告等による事業の周知を行い、協力や理解を得るように努めている。		
	②住民の参加	A	A	・八重川の清掃活動も定着し、一般の方々や中学生の参加も多くなってきた。		⑥課題解決への作用	A	A	・ごみ集積所へのごみの分別啓発の看板設置を進めることができた。		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の環境問題についての情報発信や清掃活動への参加推進は欠かせないものであり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・八重川沿いの清掃活動に対する感謝の言葉を地域住民から聞くことが増えた。		
	④各種団体との連携	A	A	・河川愛護会や各自治会等と連携し、地域の美化活動の推進の一助となっている。		事業継続の必要性 ⑦ ・ 無					
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・年3回から年2回に減らしたが、参加者は増加した。									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未 ・ 済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未 ・ 済		

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・ボランティア活動の推進															
目 的 (期待される効果)	花や緑があふれる美しい景観をつくることにより、地域全体に活力を生むことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「花いっぱい植栽活動」の実施 ①花の植栽活動（ひまわりとコスモス） 【実施時期】 草刈り作業及び耕耘作業 7月～8月中旬 種蒔き作業 8月25日（日） 草刈り作業（適時） 開花 10月中旬～11月上旬 【場 所】 加納小学校正門横の畑及び学校農園・実習田 【参加人数】 延べ100名 【内 容】 ・加納小学校正門横の畑と学校農園・実習田で、畑の耕耘作業、ひまわりとコスモスの種蒔き、草抜き等植栽及び管理を行った。部会員だけでなく、多くのボランティアの方に畑の準備や草刈り等の協力をいただいた。 ②花の寄せ植え教室 【実施時期】 12月1日（日） 【場 所】 加納地区交流センター 学習室 【参加人数】 49名 【内 容】 ・みやざき公園協会の方を講師に迎えて、春の花の寄せ植え教室を実施した。 ③花の植栽活動（春の花） 【実施時期】 耕耘作業 11月中旬 苗植え作業 春の花 12月15日（日） 水やり作業 12月中旬から適時 【場 所】 加納小学校正門横の畑 【参加人数】 延べ40名 【内 容】 ・ひまわりの植栽の撤去後、畑の耕耘作業や肥料の追加を行い、整地した。 ・宮崎市花いっぱい推進事業による花の苗380本の提供を受け、花の苗を植えた。															
事業費	189,187 円															
対 象 者	清武・加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>110 人</td><td>52 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>95 人</td><td>66 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>205 人</td><td>118 人</td></tr></table> ※活動参加者の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	110 人	52 人	スタッフ	95 人	66 人	合 計	205 人	118 人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	110 人	52 人														
スタッフ	95 人	66 人														
合 計	205 人	118 人														
住民の声（アンケートの結果等）	・花の寄せ植え教室は毎年実施してほしい。 ・加納小正門横の花の成長が楽しみである。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域がより美しくなったり、その活動に参加したりすること事体が楽しいという声が聞かれる。	広報	⑤事業の周知	A	A	・広報紙だけでなくLINEやFacebook、マチコミメール等で参加協力を呼びかけるなどして周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・主体的に参加する地域住民や地域貢献のグループの方々が増えてきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・休耕地の活用は今後も進めていきたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域内を花や緑で豊かにし、環境を整える取組は要望も多く、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・花の寄せ植え教室に参加した方からは、今後も継続してほしいとの声があった。
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎市花いっぱい推進事業を活用し、花の苗の提供を受けることができた。		事業継続の必要性			④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・畑での苗植えや種蒔き作業への一般の参加者が多くなってきた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞					対応		未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞					対応		未 ・ 済

〔３〕地域再生に係る事業

事業名	ひなたdeマルシェ開催事業（マルシェ実行委員会）	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・地産地消の推進や食文化の継承 ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	地域の食や文化にふれる機会を通して、地域住民の交流を深め、地域を活性化することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「ひなたdeマルシェ2024」の開催 【実施時期】 11月16日(土) 17日(日) 加納地区文化祭との共催 【場 所】 加納地区交流センター・加納公園 【内 容】 ・地域の食や文化に親しむ機会として、加納地区文化祭との共催で実施した。 ・各自治会、保育園、各団体、地元の事業者等と連携し、農産物や雑貨、加工品、テイクアウト食品等の販売等を通して、世代間の親睦や地域住民の交流の場をつくることのできた。 ・スタンプラリーで体験活動を行い、多くの入場者が参加し、楽しんでいた。環境部会(ごみの分別)、健康福祉部会(健康チェック)、防災部会(ロープワーク・防災スリッパ作成)、学生による民族衣装体験など、子どもだけでなく、大人も楽しんで参加していた。 ・ステージでは、交流センター利用団体のほか、小・中学校、地域の方など17グループの発表で盛り上がった。 ・館内では、作品展示を行い、幼保園、小・中学校、各団体や一般の方からの作品が展示された。 ・16日のふれあい広場では、国際交流、バルーンアート、息軒かるた体験が行われた。														
事業費	717,157円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>1,800人</td><td>2,000人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>300人</td><td>300人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,100人</td><td>2,300人</td></tr></table> ※前日準備及び当日の参加者延べ人数			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,800人	2,000人	スタッフ	300人	300人	合 計	2,100人	2,300人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,800人	2,000人													
スタッフ	300人	300人													
合 計	2,100人	2,300人													
住民の声(アンケートの結果等)	・地域活性化につながる良いイベントで、今後も続けてほしい。 ・ガラポンを使つての抽選会になり、盛り上がった。 ・人が集まって、成果を発表する良い機会だった。大人から子どもまで楽しめるイベントだった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・加納地域全体で楽しめるイベントを望む声が多く、ニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシやポスター、広報紙などあらゆる機会を活用して周知を行った。地域内の店舗等へのポスター掲示も行った。
	②住民の参加	A	A	・少しずつ地域に定着してきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・全部会が横断的に取り組む事業として、各部会の連携を図るよい機会となった。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域全体で取り組むイベントとして、地域の活性化を図る良い機会であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・地域住民の方々からも喜ばれ、文化祭との一体化が図られ良かったとの声があった。
	④各種団体との連携	A	A	・自治会や諸団体、小・中PTA、学生ボランティアなど、多くの協力があり、地域ぐるみのイベントとして定着させたい。	事業継続の必要性				⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・地区文化祭との共催による実行委員会を立ち上げ、準備を進めたことにより、人的な面だけでなく、経理の面からも相互に補完し合いながら事業を進めることができた。また、学生の企画で民族衣装体験のブースを作って活動したのも好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未 ・ 済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未 ・ 済	

事業名	イルミネーション事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	まちづくりの拠点である加納地区交流センターの認知度を高めるとともに、地域住民に憩いの場を提供することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) イルミネーション事業の実施 【実施時期】 12月2日(月)～12月6日(金) 設置準備・飾り付け 12月7日(土) 点灯式 1月18日(土) 撤去作業 【場所】 加納地区交流センター 【参加人数】 準備延べ40名 点灯式200名程度 撤去35名 【内容】 ・加納地区交流センターの芝生広場周辺をイルミネーションで飾り付け、冬の憩いの場を提供した。一部新たに加えた材料でデザインし、より充実したイルミネーションとなった。 ・設置準備から撤去活動に多くの方のご協力があり、手作り感のある飾りができた。 ・点灯式当日は、今年も地域の子どもたちによるハンドベル演奏を行い、クリスマスムードを高めた。 ・点灯式では、ひなたdeマルシェの際に子どもたちが作成した竹灯籠を飾った。														
事業費	158,861円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>200人</td><td>160人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>75人</td><td>69人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>275人</td><td>229人</td></tr></table> ※準備、点灯式、撤去作業の延べ人数			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	200人	160人	スタッフ	75人	69人	合 計	275人	229人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	200人	160人													
スタッフ	75人	69人													
合 計	275人	229人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・冬のイベントとしてふさわしい。家族で記念写真を撮りに来られる方がよく見られた。 ・夜間の交流センター利用者の方から、活動の前後に施設前のイルミネーションを見られて良かったといった感想を多くの方から聞くことができた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域内で楽しめる機会や場所を望む声は多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	・点灯式やイルミネーション事業について、チラシやSNSを活用して周知に努め、認知度も向上した。
	②住民の参加	A	A	・準備段階から多くの方が参加し、設置作業も含め、みんなで楽しむことができた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・魅力的なまちづくりに向けてまちづくり協議会が取り組んでいることの象徴となり、効果的である。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の拠点としてまちづくり協議会や交流センターが存在することを示す機会として有意義であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・イルミネーションが大変綺麗で素晴らしいとの声が聞かれた。
	④各種団体との連携	A	A	・昨年度よりも諸団体からの協力を得られることができた。	事業継続の必要性				⑦有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・飾りつけや撤去作業へのボランティア協力が多かった。 ・作業を進めるためには、事前の準備がかなり必要で仕分け作業を入念に行った。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								

[4] 健康づくりに係る事業

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	2. はらっぱい ～おなかも心も満たされるまちへ～ 3. えがおっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・スポーツ交流 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	地域住民の健康増進や世代間交流を推進し、明るく豊かな地域を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1)「スポーツ体験活動」や「健康講座」の実施 ①「健康づくり講座」の実施 【実施時期】7月6日(土) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール 【参加人数】51名 【内 容】 ・第1部 講師 長友孝平氏(管理栄養士) 森本友香氏(保健師)の指導による健康講座「夏を快適に」で、食中毒や脱水を防ぐポイントを指導していただいた。 第2部 講師 濱砂道世氏(笑いヨガティーチャー)の指導による「笑って、元気に!」で、手軽な運動とともに笑いヨガを楽しんだ。 ②「グラウンドゴルフ大会」の実施 【実施時期】11月2日(土) 天候不良のため中止 【場 所】加納公園 多目的広場A/B 【参加人数】0名 【内 容】 ・準備は整っていたのだが、当日の天候不良が予想されたため、参加者への中止の連絡を前日に行い、混乱を回避した。 ③「ボッチャ体験会」の実施 【実施時期】1月26日(日) 【場 所】加納交流センター 多目的ホール 【参加人数】60名 【内 容】 ・ボッチャのルールや運動の仕方を説明した後、3人のチームに分かれて、投げ方の練習を行った。 ・対戦チームを決めてゲーム方式で楽しんだ。 ・参加者全員でお楽しみ抽選会を行った。															
事業費	113,485円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>80人</td><td>102人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>31人</td><td>57人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>111人</td><td>159人</td></tr></table> ※参加者数は2事業の延べ人数(1事業は中止)				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	80人	102人	スタッフ	31人	57人	合 計	111人	159人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	80人	102人														
スタッフ	31人	57人														
合 計	111人	159人														
住民の声(アンケートの結果等)	・初めてボッチャをやってみたが、予想以上に楽しかった。次回も参加したい。 ・健康講座の内容も大変良く、興味深いものであった。広報の仕方を工夫して地域にPRし、もっと多くの方が体験できるようにするとよい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・事業ごとに毎回アンケートを取り、住民の要望を把握している。	広報	⑤事業の周知	A	A	・事業案内チラシや広報紙、小学校のマチコミメール等を活用し、周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・事業参加者には大変喜ばれている。家族での参加も徐々に増えてきている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・世代を超えたふれ合いのあるイベントや講座の開催は妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会、さんさんクラブ、小学校等に事業参加を呼びかける協力をいただいた。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ 小学校のマチコミメールによる事業案内をしたことで、子どもたちやその保護者の参加が増えてきた。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	

[5] 伝統文化に関する事業

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・伝統文化の継承 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	郷土の歴史や文化に触れる活動を通して、伝統文化の礎を再確認し、更に継承していくことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「ものづくり体験教室」の実施 【時期】 7月28日(日) 【場所】 加納地区交流センター 学習室及び和室 【参加人数】 50名 【内容】 ・優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」による「ITプログラミング」と「型染め」の指導を受け、ものづくりへの興味関心を高めた。親子連れでの体験ができた。 (2) 史跡めぐりウォーキングの開催 【時期】 1月19日(日) 【場所】 加納小学校から加納地域内の史跡等の往復 【参加人数】 80名 【内容】 ・「史跡めぐりガイドブック」を活用しながら、加納小学校発着～伊東祐堯公墓～船引神社をめぐってのウォーキングを行った。 ・伊東祐堯公墓では、安井息軒記念館の長野さんに解説いただいた。 ・船引神社では、神楽保存会の方のご協力で神楽殿において、神楽を4演目鑑賞した。															
事業費	77,644円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>95人</td><td>460人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>35人</td><td>135人</td></tr><tr><td>合計</td><td>130人</td><td>595人</td></tr></table> ※2つの活動についての延べ人数				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	95人	460人	スタッフ	35人	135人	合計	130人	595人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	95人	460人														
スタッフ	35人	135人														
合計	130人	595人														
住民の声 (アンケートの結果等)	・神楽殿での神楽の鑑賞もできて、大変良い機会だった。 ・ものづくりマイスターの指導が丁寧で分かりやすかった。もっと多くの子どもたちが参加するとよい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域の歴史や文化について興味関心が高い方が多いので、これからも住民の要望があれば応えていきたい。	広報	⑤事業の周知	A	A	・参加者募集のチラシやSNSでの発信、広報紙で事業の周知を行った。
	②住民の参加	A	A	・複数回の参加者も多くなってきており、事業への関心が高い。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	・参加者の様子から、身近な場所で歴史や文化にふれることができ、大変良かった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の良さや歴史を学ぶ機会としてこれらの取組は妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・史跡めぐりウォーキングは、地域の歴史・文化を知る機会となったとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・ものづくり体験では、「ものづくりマイスター」の方々の協力、史跡めぐりウォーキングでは、船引神社神楽保存会等の協力を得て、事業ができた。		事業継続の必要性			④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ 小学校のマチコミメールを活用し、事前の事業案内を小学校保護者に届けることができた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・ 伝統文化の継承 ・ 地域住民・世代間交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	子どもの健やかな成長や健康、安全を願い、地域全体で祝うことを目的とする。															
事業内容・手段	「鯉のぼり掲揚」の実施 【実施時期】令和6年5月25日（土）（前年度分の撤去） 【場所】加納公園 こども広場 【内容】 ・ 3月に掲揚した鯉のぼりの撤去活動を行った。 ・ 掲揚期間中、鯉のぼりやロープが外れたこともあり、事務局で鯉のぼりの揚げ降ろし等の調整を行った。 ・ 掲揚にあたっては、部会員や役員、地域の方の協力をいただきながら準備を進め、竹の運搬や設置、鯉のぼり付け等を行うことができた。															
事業費	10,020円		未確定													
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>4人</td><td>120人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>18人</td><td>55人</td></tr><tr><td>合計</td><td>22人</td><td>175人</td></tr></table> ※5月鯉のぼり撤去作業参加者人数				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	4人	120人	スタッフ	18人	55人	合計	22人	175人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	4人	120人														
スタッフ	18人	55人														
合計	22人	175人														
住民の声（アンケートの結果等）	・ こども広場に掲揚された鯉のぼりを子ども連れで見に来られる方も多く、見るだけで楽しい気分になると喜ばれていた。 ・ 桜の開花時期と重なり、大変良かった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・鯉のぼり掲揚が恒例となり、公園での掲揚を楽しみにされている方が多い。	広報	⑤事業の周知	A	B	・鯉のぼり掲揚事業について、まちだよりやLINE、Facebookでも広報した。
	②住民の参加	A	A	・地域貢献活動としてのボランティア参加も定着してきた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・子どもの成長を願う思いが、目に見える形で実現される取組であるので妥当である。	事業の効果		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	・河川愛護会の方々には設置作業や撤去作業に協力をいただいた。		事業継続の必要性		⑦有 ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・3月下旬は、強風による影響を受けやすいので、鯉のぼり設置や設置後の安全管理のため、令和7年度より設置時期を4月に行うことにした。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応		未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応		未 ・ 済

[6] その他の事業

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業（広報部会）	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～														
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の役割や活動に対する地域住民の理解を深め、まちづくりへの参画につなげることを目的とする。														
事業内容・手段	「加納地域まちづくり協議会だより」の発行 【実施時期】 年3回（6月・12月・3月）発行 【部数】 各5,000部 【規格】 A4サイズ両面カラー印刷（8P構成） 【内容】 ・事業内容の周知やPR活動報告のほか、地域で活躍する個人の紹介も取り入れて掲載した。 ・幅広い世代に読んでもらえるように、分かりやすく読みやすい紙面づくりを心がけた。 【配付方法】 ・自治会加入世帯は、自治会を通して各世帯に配付した。 ・清武総合支所や宮崎市社会福祉協議会清武支所、宮崎市清武文化会館、四季の夢、その他の公共機関、事業所、近隣の大学等に設置し、配付や回覧等を依頼した。 ・事業内容によっては、福祉施設や児童センター、保育所等にも設置、小・中学校等には、PTA戸数で配付した。 ・他地域のまちづくり推進委員会にも送付し、お互いの取組についての情報交換に役立てた。														
事業費	138,210円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>3人</td><td>5人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>10人</td><td>10人</td></tr><tr><td>合計</td><td>13人</td><td>15人</td></tr></table> ※一般からの写真データの提供者数を付加			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	3人	5人	スタッフ	10人	10人	合計	13人	15人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	3人	5人													
スタッフ	10人	10人													
合計	13人	15人													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・まちづくりの事業だけでなく、地域内の取組も知りたいといった声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	・各事業や地域の情報等を発信したり、まちづくりのPRとして諸会合でも周知材料として配布した。
	②住民の参加	A	A	・掲載記事の一部に住民から寄せられた写真を使用した。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・8ページの紙面によって、各事業の案内や報告等、詳しく紹介することができた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちだより発行を通して、各事業の発信や地域との連携等の推進を図ることにつながっていることから、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・写真を活用した紙面づくりを心掛け、地域住民からも喜ばれている。
	④各種団体との連携	A	A	・各団体や事業所、小中学校等にもまちだよりの設置や配付をし、相互の連携を図るようにしている。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・他地域のまちづくり推進委員会等に広報紙を送付したり、イベント時にも参加者に配布したりするようにした。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

事業名	まちづくり計画推進事業	(事務局)	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～															
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりの実現に向けて、まちづくり協議会の認知度を向上させ、部会員や支援者を増やすことや各種団体との連携強化につなげることを目的とする。															
事業内容・手段	「住民主体のまちづくりのための計画推進」の実施 【時期】 通年 【内容】 ・事業開催時や街頭キャンペーン時に部会員や青パト隊員の募集チラシの配布等のPR活動を行った。 ・まちづくり協議会の事業や取組の周知活動として、他の推進委員会等にまちだよりやチラシ等を進呈し、情報交換を行った。 ・地域住民に地域内で撮影した写真を公募し、採用した写真をもとにフォトカレンダーを作成した。令和7年度まちづくりフォトカレンダーとして、12月末に各世帯に配付し、公共機関や地域内の事業所等にも設置した。 ・熊本県人吉市の豪雨災害復興からの復興に係る取組についての研修プログラムを利用して視察研修を実施した。 ・新部会員の方にまちづくりTシャツを進呈し、各事業では着用いただいた。															
事業費	393,665円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>8人</td><td>7人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>15人</td><td>15人</td></tr><tr><td>合計</td><td>23人</td><td>22人</td></tr></table> ※まちづくりフォトカレンダーへの参加者及び 視察研修への参加者等の延べ人数				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	8人	7人	スタッフ	15人	15人	合計	23人	22人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	8人	7人														
スタッフ	15人	15人														
合計	23人	22人														
住民の声 (アンケートの結果等)	特にアンケートは取っていない。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	B	B	・カレンダー写真の応募チラシを各世帯や中学校、事業所等に配付するとともに、Facebookや公式LINEも活用した。
	②住民の参加	B	B	・まちづくりフォトカレンダーの写真を住民から募集した。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・先進的な取組をしている行政や施設で学んだことをアイデアの一つとして事業に活用できた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・各事業の開催時にPR活動の機会を設けることで、幅広い人材の協力を求めることができることから、妥当である。		⑦住民の満足度	B	B	・視察研修で学んだ地域防災のことを活かして、住民への防災意識向上に役立てたい。
	④各種団体との連携	A	A	・様々な機会を活用して周知活動を行い、各団体との連携を図るようにした。	事業継続の必要性			④有 ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・地域住民から応募のあった写真を使ってカレンダーを作成し、令和7年版（1月から12月まで）を12月末に配布した。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	

事業名	まちづくり協議会管理運営事業（事務局）		実施年数	15年目																					
事業期間	開始：平成22年度		終了：なし																						
地域魅力発信プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～																								
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを目指し、各部会や諸団体と連携して円滑な事業運営や備品の整備・管理を行うことを目的とする。																								
事業内容・手段	「まちづくり協議会管理運営」の実施 【時期】 通年 【場所】 加納地区交流センター内 加納地域まちづくり協議会事務局 【内容】 ・運営委員会13回、三役会4回、各部会等計24回、自治会長等との意見交換会2回、他団体との会議や打ち合わせを3回実施した。 ・まちづくり協議会と各種団体等とのスムーズな連携を図るよう連絡調整を行い、事業の運営に当たった。 ・事務局内の備品整理や適切な会計管理を行い、円滑な事業運営の実施に努めた。 ・LINEやFacebook等を活用し、事業や各部会の活動等の情報発信を行ったり、各部会の連絡調整や意見の集約にも活用した。																								
事業費	744,962円																								
対象者	加納地域まちづくり協議会会員及び関係団体																								
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>総 会</td><td>70人</td><td>80人</td></tr><tr><td>役員会等</td><td>150人</td><td>160人</td></tr><tr><td>意見交換会</td><td>60人</td><td>64人</td></tr><tr><td>各部会等</td><td>350人</td><td>410人</td></tr><tr><td>部会員会議</td><td>73人</td><td>77人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>703人</td><td>791人</td></tr></table> ※年間の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	総 会	70人	80人	役員会等	150人	160人	意見交換会	60人	64人	各部会等	350人	410人	部会員会議	73人	77人	合 計	703人	791人
年 度	令和6年度	令和5年度																							
総 会	70人	80人																							
役員会等	150人	160人																							
意見交換会	60人	64人																							
各部会等	350人	410人																							
部会員会議	73人	77人																							
合 計	703人	791人																							
住民の声（アンケートの結果等）	・特にアンケート等は取っていない。																								

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	A	B	・まちだよりや掲示ポスター、Facebookなどにより広報活動を行ったが、会員同士の連絡にはLINEも活用することが多かった。
	②住民の参加	B	B		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	・地域住民のニーズや課題をしっかりと把握し、新事業等の企画や継続事業の内容の改善に努めたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・地域内の自治会、各団体、各学校等を繋げる役割を果たすためにも妥当である。		⑦住民の満足度	B	B	・各部会の事業等について、SNS等で発信することも増え、それに対する反応も以前より多くなってきた。
	④各種団体との連携	A	B	・各団体や自治会との意見交換会を2回開催できたことは大変効果的だった。各団体との連携を強め、住民の参加を広げていきたい。	事業継続の必要性			⑨ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・事業の反省や意見の収集、日程調整等もLINEで行うことで各部会の回数を減らし、負担軽減につながるようにした。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)	実施年数	14年目																		
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし																			
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり																					
目的 (期待される効果)	加納地域の住民が、安心して生活できる環境と地域の地盤を作ることを目的とする。																					
事業内容・手段	(1) 「防犯パトロール活動」や「見守り活動」等の実施 【時期】 通年 【場所】 加納地域15地区内 【参加人数】 延べ1,000名程度 【内容】 ・青色防犯パトロール車(リース車)による巡回活動を平日はほぼ毎日実施し、夜間も週に2回程度実施することができた。 ・青パト新規隊員を募集し、更新者も含めた講習会を5月と2月に2回実施した。巡回体制の強化を図り、現在86名の登録隊員に加え、自治会長、防犯部会員で活動している。 ・警察署や交番、地域安全協会、自治会等と協働で地域安全運動街頭キャンペーンを実施し、住民への防犯意識の向上を促した。青パト車のスピーカーによる街頭キャンペーン広報も行い、住民への呼びかけを行った。 8月(計25名)、12月(計21名)、4月と10月は天候不良のため中止。 ・自治会、青少年育成協議会、小中学校等と連携し、主要交差点等での愛の一声あいさつ運動を計12日間実施した。(4月・6月・9月・1月) ・7月のきよたけ郷土祭りにおいて青パト隊員16名がパレードに参加し、安全・安心のまちづくりを呼びかけた。																					
事業費	591,765円																					
対象者	加納地域住民																					
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>青パト巡回関連</td><td>500人</td><td>557人</td></tr><tr><td>街頭キャンペーン</td><td>60人</td><td>45人</td></tr><tr><td>あいさつ運動</td><td>150人</td><td>150人</td></tr><tr><td>その他</td><td>25人</td><td>43人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>735人</td><td>795人</td></tr></table> ※ 参加者数は年間延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	青パト巡回関連	500人	557人	街頭キャンペーン	60人	45人	あいさつ運動	150人	150人	その他	25人	43人	合 計	735人	795人
年 度	令和6年度	令和5年度																				
青パト巡回関連	500人	557人																				
街頭キャンペーン	60人	45人																				
あいさつ運動	150人	150人																				
その他	25人	43人																				
合 計	735人	795人																				
住民の声(アンケートの結果等)	・アンケートは実施していないが、青パト車による見守り活動に対しては、子どもたちの反応もよく、安心して登下校できると学校や保護者からの感謝の声がよく届く。																					

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・小中学校、警察署との連携を密にし、情報交換に努めるとともに、青パト開始時に情報伝達を徹底し、被害予防と防止に努めた。	広報	⑤事業の周知	A	A	・あいさつ運動や見守り活動等の日程や内容について、各自治会や諸団体等にチラシを配布したり、SNSを活用して周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・あらゆる機会をとらえ、住民への協力依頼に努め、自治会役員、PTA、個人ボランティアの方々など地域ぐるみの活動推進が図られた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域まちづくりの推進母体としての意識のもと、各種行事に取り組み、妥当且つ十分な連携であった。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・パトロール活動や愛の一声あいさつ運動等における自治会役員や青パト隊、小中PTA、個人ボランティア等、良好な協力、連携が図られた。		事業継続の必要性		④ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞							
		・宮崎南署管内の青パト隊も合流した合同パトロール、街頭キャンペーンを行った。青パト車に小学生も同乗し、啓発活動を実施したが、大変好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞				対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞							
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞				対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞							

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり															
目的 (期待される効果)	災害発生時に対応できる防災経験や防災意識の向上を目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「防災講座」の実施 【実施時期】9月1日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール及びこども広場 【参加人数】105名 【内 容】 ・地域内の安全や防災について、HUG(避難所運営ゲーム)方式で各自治会ごとに災害発生時に伴う周辺住民の避難者をどのように受け入れ、避難所をどう運営するかを図上で訓練した。 ・こども広場において、火おこしを行い、ハイゼックス(炊飯袋)を使ったおにぎりと冷やしそうめんを参加者に試食してもらった。 (2) 「地域総合防災訓練」の実施 【実施時期】2月9日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール及びこども広場 【参加人数】300名程度(一次避難参加者を含まず) 【内 容】 ・消防団の機材投入や防災体験、応急手当や給水車の体験等、防災に関する様々な知識や体験活動を実施した。 ・同一時刻一斉に地震発生を想定したシェイクアウト訓練を行い、住民の方には、ご自宅等で身の安全を守る行動を促した。その後、一時避難や指定避難所へ、各自治会や個人で避難訓練として参加していただいた。 ・会場では、地震体験コーナーや、AED、ロープ結索、段ボールベッド設置などの体験を行った。屋外では、消防車両の展示のほか、地震体験車、煙テント体験、水消火器訓練などを行い、様々な防災体験を実施した。 (3) 防災スキルアップ研修会の実施 【実施時期】①7月11日(木) ②10月24日(木) 【場 所】加納地区交流センター・学習室及び和室 【参加人数】①18名 ②21名 【内 容】 ・防災部会員及び地域の防災士等に参加していただき、座学及び実技研修を行った。 ①女性消防団員3名より、救命措置(心肺蘇生法とAED)についての説明と実技指導を受けた。 ②防災コーディネーターによる災害時や日常生活の中でも生かせるロープ結索について実技指導を受けた。															
事業費	207,060 円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>320 人</td><td>204 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>124 人</td><td>110 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>444 人</td><td>314 人</td></tr></table> ※(1)～(4)の各事業の参加者数の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	320 人	204 人	スタッフ	124 人	110 人	合 計	444 人	314 人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	320 人	204 人														
スタッフ	124 人	110 人														
合 計	444 人	314 人														
住民の声(アンケートの結果等)	・HUGは、各地区ごとの地図上で具体的なシミュレーションができたとの感想があった。 ・地域総合防災訓練では、南海トラフ地震についての報道も多くなっていることから、興味深く参加したとの声が多かった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各自治会では実施しづらい大掛かりな防災活動の場としての期待感がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・機会あるごとにチラシの配布を行ったり、マチコミメールも活用したりした。
	②住民の参加	A	A	・近年は竜巻や地震の発生が続き、住民の防災意識も高まってきており、事業参加者も増えた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・防災事業を各自治会の活動の一つとして活用いただける機会となっている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域住民の防災意識の向上を図るためにも体験活動等の機会は貴重であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・アンケートでは、実際の災害場面でも活用できる内容であると好意的な意見が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会や団体等の協力もあり、防災講座や防災訓練等の充実を図ることができた。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・訓練会場を加納地区交流センターにしたことで、防災訓練への参加者も多くなり効果的だった。炊き出し訓練も好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

〔2〕環境に係る事業

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・環境美化意識の啓発 ・河川環境美化活動 ・ボランティア活動の推進															
目的 (期待される効果)	きれいで住み良いまちづくりを目指し、地域住民自らが率先して地域の美化に関心を持ち、実践できるような環境を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「環境パトロールや不法投棄の監視等」の実施 【実施時期】 環境パトロール（7月10日（水）のみ） 看板設置（通年） 【場 所】 加納地域15地区内（川沿い、山間部道路沿い他） 【参加人数】 パトロール4名、ごみ集積所看板設置5地区 【内 容】 ・地域の山間部道路沿いや八重川の堤防沿い等を中心に実施した。 ・不法投棄禁止の看板設置箇所を点検するほか、各自治会のゴミ集積所のごみ分別啓発看板を追加設置して、地域住民への啓発を行った。 (2) 「八重川堤防沿いの環境整備」の実施 【実施時期】 年2回 ①6月16日（日） ②9月29日（日） 【場 所】 加納地域内八重川両岸 【参加人数】 ①127名 ②146名 【内 容】 ・各自治会、諸団体、中学生ボランティア、清武地区ボランティア連絡協議会等と連携してごみ拾い活動と呼びかけ、多くの参加があった。 ・作業中は、青パト車による巡回アナウンスでごみの分別や環境美化をPRした。															
事業費	67,114円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>240人</td><td>219人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>38人</td><td>51人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>278人</td><td>270人</td></tr></table> ※年間の活動参加者の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	240人	219人	スタッフ	38人	51人	合 計	278人	270人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	240人	219人														
スタッフ	38人	51人														
合 計	278人	270人														
住民の声（アンケートの結果等）	・台風後の八重川のごみが多くなっていた。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・環境パトロール等の実施により、八重川や線路沿い、山林等へのごみの不法投棄について把握している。	広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシや広報紙による事業の案内や報告等による事業の周知を行い、協力や理解を得るように努めている。
	②住民の参加	A	A	・八重川の清掃活動も定着し、一般の方々や中学生の参加も多くなってきた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の環境問題についての情報発信や清掃活動への参加推進は欠かせないものであり、妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・河川愛護会や各自治会等と連携し、地域の美化活動の推進の一助となっている。		事業継続の必要性			(有) ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・年3回から年2回に減らしたが、参加者は増加した。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
	<意見への対応>								
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
<意見への対応>									

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度			終了：なし												
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・ボランティア活動の推進															
目 的 (期待される効果)	花や緑があふれる美しい景観をつくることにより、地域全体に活力を生むことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「花いっぱい植栽活動」の実施 ①花の植栽活動 (ひまわりとコスモス) 【実施時期】 草刈り作業及び耕耘作業 7月～8月中旬 種蒔き作業 8月25日 (日) 草刈り作業 (適時) 開花 10月中旬～11月上旬 【場 所】 加納小学校正門横の畑及び学校農園・実習田 【参加人数】 延べ100名 【内 容】 ・加納小学校正門横の畑と学校農園・実習田で、畑の耕耘作業、ひまわりとコスモスの種蒔き、草抜き等植栽及び管理を行った。部会員だけでなく、多くのボランティアの方に畑の準備や草刈り等の協力をいただいた。 ②花の寄せ植え教室 【実施時期】 12月1日 (日) 【場 所】 加納地区交流センター 学習室 【参加人数】 49名 【内 容】 ・みやざき公園協会の方を講師に迎えて、春の花の寄せ植え教室を実施した。 ③花の植栽活動 (春の花) 【実施時期】 耕耘作業 11月中旬 苗植え作業 春の花 12月15日 (日) 水やり作業 12月中旬から適時 【場 所】 加納小学校正門横の畑 【参加人数】 延べ40名 【内 容】 ・ひまわりの植栽の撤去後、畑の耕耘作業や肥料の追加を行い、整地した。 ・宮崎市花いっぱい推進事業による花の苗380本の提供を受け、花の苗を植えた。															
事業費	189,187 円															
対 象 者	清武・加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>110 人</td><td>52 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>95 人</td><td>66 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>205 人</td><td>118 人</td></tr></table> ※活動参加者の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	110 人	52 人	スタッフ	95 人	66 人	合 計	205 人	118 人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	110 人	52 人														
スタッフ	95 人	66 人														
合 計	205 人	118 人														
住民の声 (アンケートの結果等)	・花の寄せ植え教室は毎年実施してほしい。 ・加納小正門横の花の成長が楽しみである。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域がより美しくなったり、その活動に参加したりすること事体が楽しいという声が聞かれる。	広報	⑤事業の周知	A	A	・広報紙だけでなくLINEやFacebook、マチコミメール等で参加協力を呼びかけるなどして周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・主体的に参加する地域住民や地域貢献のグループの方々が増えてきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・休耕地の活用は今後も進めていきたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域内を花や緑で豊かにし、環境を整える取組は要望も多く、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・花の寄せ植え教室に参加した方からは、今後も継続してほしいとの声があった。
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎市花いっぱい推進事業を活用し、花の苗の提供を受けることができた。		事業継続の必要性			④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・畑での苗植えや種蒔き作業への一般の参加者が多くなってきた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞					対応		未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞					対応		未 ・ 済

〔３〕地域再生に係る事業

事業名	ひなたdeマルシェ開催事業（マルシェ実行委員会）	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっばい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっばい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっばい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・地産地消の推進や食文化の継承 ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	地域の食や文化にふれる機会を通して、地域住民の交流を深め、地域を活性化することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「ひなたdeマルシェ2024」の開催 【実施時期】 11月16日(土) 17日(日) 加納地区文化祭との共催 【場 所】 加納地区交流センター・加納公園 【内 容】 ・地域の食や文化に親しむ機会として、加納地区文化祭との共催で実施した。 ・各自治会、保育園、各団体、地元の事業者等と連携し、農産物や雑貨、加工品、テイクアウト食品等の販売等を通して、世代間の親睦や地域住民の交流の場をつくることのできた。 ・スタンプラリーで体験活動を行い、多くの入場者が参加し、楽しんでいた。環境部会（ごみの分別）、健康福祉部会（健康チェック）、防災部会（ロープワーク・防災スリッパ作成）、学生による民族衣装体験など、子どもだけでなく、大人も楽しんで参加していた。 ・ステージでは、交流センター利用団体のほか、小・中学校、地域の方など17グループの発表で盛り上がった。 ・館内では、作品展示を行い、幼保園、小・中学校、各団体や一般の方からの作品が展示された。 ・16日のふれあい広場では、国際交流、バルーンアート、息軒かるた体験が行われた。														
事業費	717,157円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>1,800人</td><td>2,000人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>300人</td><td>300人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,100人</td><td>2,300人</td></tr></table> ※前日準備及び当日の参加者延べ人数			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,800人	2,000人	スタッフ	300人	300人	合 計	2,100人	2,300人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,800人	2,000人													
スタッフ	300人	300人													
合 計	2,100人	2,300人													
住民の声（アンケートの結果等）	・地域活性化につながる良いイベントで、今後も続けてほしい。 ・ガラポンを使つての抽選会になり、盛り上がった。 ・人が集まって、成果を発表する良い機会だった。大人から子どもまで楽しめるイベントだった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・加納地域全体で楽しめるイベントを望む声が多く、ニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシやポスター、広報紙などあらゆる機会を活用して周知を行った。地域内の店舗等へのポスター掲示も行った。
	②住民の参加	A	A	・少しずつ地域に定着してきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・全部会が横断的に取り組む事業として、各部会の連携を図るよい機会となった。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域全体で取り組むイベントとして、地域の活性化を図る良い機会であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・地域住民の方々からも喜ばれ、文化祭との一体化が図られ良かったとの声があった。
	④各種団体との連携	A	A	・自治会や諸団体、小・中PTA、学生ボランティアなど、多くの協力があり、地域ぐるみのイベントとして定着させたい。	事業継続の必要性				⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・地区文化祭との共催による実行委員会を立ち上げ、準備を進めたことにより、人的な面だけでなく、経理の面からも相互に補完し合いながら事業を進めることができた。また、学生の企画で民族衣装体験のブースを作って活動したのも好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未 ・ 済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未 ・ 済

事業名	イルミネーション事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	まちづくりの拠点である加納地区交流センターの認知度を高めるとともに、地域住民に憩いの場を提供することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) イルミネーション事業の実施 【実施時期】 12月2日(月)～12月6日(金) 設置準備・飾り付け 12月7日(土) 点灯式 1月18日(土) 撤去作業 【場所】 加納地区交流センター 【参加人数】 準備延べ40名 点灯式200名程度 撤去35名 【内容】 ・加納地区交流センターの芝生広場周辺をイルミネーションで飾り付け、冬の憩いの場を提供した。一部新たに加えた材料でデザインし、より充実したイルミネーションとなった。 ・設置準備から撤去活動に多くの方のご協力があり、手作り感のある飾りができた。 ・点灯式当日は、今年も地域の子どもたちによるハンドベル演奏を行い、クリスマスムードを高めた。 ・点灯式では、ひなたdeマルシェの際に子どもたちが作成した竹灯籠を飾った。														
事業費	158,861円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>200人</td><td>160人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>75人</td><td>69人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>275人</td><td>229人</td></tr></table> ※準備、点灯式、撤去作業の延べ人数			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	200人	160人	スタッフ	75人	69人	合 計	275人	229人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	200人	160人													
スタッフ	75人	69人													
合 計	275人	229人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・冬のイベントとしてふさわしい。家族で記念写真を撮りに来られる方がよく見られた。 ・夜間の交流センター利用者の方から、活動の前後に施設前のイルミネーションを見られて良かったといった感想を多くの方から聞くことができた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域内で楽しめる機会や場所を望む声は多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	・点灯式やイルミネーション事業について、チラシやSNSを活用して周知に努め、認知度も向上した。
	②住民の参加	A	A	・準備段階から多くの方が参加し、設置作業も含め、みんなで楽しむことができた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・魅力的なまちづくりに向けてまちづくり協議会が取り組んでいることの象徴となり、効果的である。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の拠点としてまちづくり協議会や交流センターが存在することを示す機会として有意義であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・イルミネーションが大変綺麗で素晴らしいとの声が聞かれた。
	④各種団体との連携	A	A	・昨年度よりも諸団体からの協力を得られることができた。	事業継続の必要性				⑦有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・飾りつけや撤去作業へのボランティア協力が多かった。 ・作業を進めるためには、事前の準備がかなり必要で仕分け作業を入念に行った。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
	<意見への対応>								

[4] 健康づくりに係る事業

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	2. はらっぱい ～おなかも心も満たされるまちへ～ 3. えがおっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・スポーツ交流 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	地域住民の健康増進や世代間交流を推進し、明るく豊かな地域を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1)「スポーツ体験活動」や「健康講座」の実施 ①「健康づくり講座」の実施 【実施時期】7月6日(土) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール 【参加人数】51名 【内 容】 ・第1部 講師 長友孝平氏(管理栄養士) 森本友香氏(保健師)の指導による健康講座「夏を快適に」で、食中毒や脱水を防ぐポイントを指導していただいた。 第2部 講師 濱砂道世氏(笑いヨガティーチャー)の指導による「笑って、元気に!」で、手軽な運動とともに笑いヨガを楽しんだ。 ②「グラウンドゴルフ大会」の実施 【実施時期】11月2日(土) 天候不良のため中止 【場 所】加納公園 多目的広場A/B 【参加人数】0名 【内 容】 ・準備は整っていたのだが、当日の天候不良が予想されたため、参加者への中止の連絡を前日に行い、混乱を回避した。 ③「ボッチャ体験会」の実施 【実施時期】1月26日(日) 【場 所】加納交流センター 多目的ホール 【参加人数】60名 【内 容】 ・ボッチャのルールや運動の仕方を説明した後、3人のチームに分かれて、投げ方の練習を行った。 ・対戦チームを決めてゲーム方式で楽しんだ。 ・参加者全員でお楽しみ抽選会を行った。															
事業費	113,485円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>80人</td><td>102人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>31人</td><td>57人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>111人</td><td>159人</td></tr></table> ※参加者数は2事業の延べ人数(1事業は中止)				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	80人	102人	スタッフ	31人	57人	合 計	111人	159人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	80人	102人														
スタッフ	31人	57人														
合 計	111人	159人														
住民の声(アンケートの結果等)	・初めてボッチャをやってみたが、予想以上に楽しかった。次回も参加したい。 ・健康講座の内容も大変良く、興味深いものであった。広報の仕方を工夫して地域にPRし、もっと多くの方が体験できるようにするとよい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・事業ごとに毎回アンケートを取り、住民の要望を把握している。	広報	⑤事業の周知	A	A	・事業案内チラシや広報紙、小学校のマチコミメール等を活用し、周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・事業参加者には大変喜ばれている。家族での参加も徐々に増えてきている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・世代を超えたふれ合いのあるイベントや講座の開催は妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会、さんさんクラブ、小学校等に事業参加を呼びかける協力をいただいた。	事業継続の必要性			⑦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ 小学校のマチコミメールによる事業案内をしたことで、子どもたちやその保護者の参加が増えてきた。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	

[5] 伝統文化に関する事業

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・伝統文化の継承 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	郷土の歴史や文化に触れる活動を通して、伝統文化の礎を再確認し、更に継承していくことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「ものづくり体験教室」の実施 【時期】 7月28日(日) 【場所】 加納地区交流センター 学習室及び和室 【参加人数】 50名 【内容】 ・優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」による「ITプログラミング」と「型染め」の指導を受け、ものづくりへの興味関心を高めた。親子連れでの体験ができた。 (2) 史跡めぐりウォーキングの開催 【時期】 1月19日(日) 【場所】 加納小学校から加納地域内の史跡等の往復 【参加人数】 80名 【内容】 ・「史跡めぐりガイドブック」を活用しながら、加納小学校発着～伊東祐堯公墓～船引神社をめぐってのウォーキングを行った。 ・伊東祐堯公墓では、安井息軒記念館の長野さんに解説いただいた。 ・船引神社では、神楽保存会の方のご協力で神楽殿において、神楽を4演目鑑賞した。															
事業費	77,644円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>95人</td><td>460人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>35人</td><td>135人</td></tr><tr><td>合計</td><td>130人</td><td>595人</td></tr></table> ※2つの活動についての延べ人数				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	95人	460人	スタッフ	35人	135人	合計	130人	595人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	95人	460人														
スタッフ	35人	135人														
合計	130人	595人														
住民の声 (アンケートの結果等)	・神楽殿での神楽の鑑賞もできて、大変良い機会だった。 ・ものづくりマイスターの指導が丁寧で分かりやすかった。もっと多くの子どもたちが参加するとよい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域の歴史や文化について興味関心が高い方が多いので、これからも住民の要望があれば応えていきたい。	広報	⑤事業の周知	A	A	・参加者募集のチラシやSNSでの発信、広報紙で事業の周知を行った。
	②住民の参加	A	A	・複数回の参加者も多くなってきており、事業への関心が高い。		⑥課題解決への作用	A	B	・参加者の様子から、身近な場所で歴史や文化にふれることができ、大変良かった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の良さや歴史を学ぶ機会としてこれらの取組は妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	・史跡めぐりウォーキングは、地域の歴史・文化を知る機会となったとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・ものづくり体験では、「ものづくりマイスター」の方々の協力、史跡めぐりウォーキングでは、船引神社神楽保存会等の協力を得て、事業ができた。		事業継続の必要性		④ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ 小学校のマチコミメールを活用し、事前の事業案内を小学校保護者に届けることができた。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未 ・ 済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未 ・ 済	

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・ 伝統文化の継承 ・ 地域住民・世代間交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	子どもの健やかな成長や健康、安全を願い、地域全体で祝うことを目的とする。															
事業内容・手段	「鯉のぼり掲揚」の実施 【実施時期】令和6年5月25日（土）（前年度分の撤去） 【場所】加納公園 こども広場 【内容】 ・ 3月に掲揚した鯉のぼりの撤去活動を行った。 ・ 掲揚期間中、鯉のぼりやロープが外れたこともあり、事務局で鯉のぼりの揚げ降ろし等の調整を行った。 ・ 掲揚にあたっては、部会員や役員、地域の方の協力をいただきながら準備を進め、竹の運搬や設置、鯉のぼり付け等を行うことができた。															
事業費	10,020円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>4人</td><td>120人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>18人</td><td>55人</td></tr><tr><td>合計</td><td>22人</td><td>175人</td></tr></table> ※5月鯉のぼり撤去作業参加者人数				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	4人	120人	スタッフ	18人	55人	合計	22人	175人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	4人	120人														
スタッフ	18人	55人														
合計	22人	175人														
住民の声（アンケートの結果等）	・ こども広場に掲揚された鯉のぼりを子ども連れで見に来られる方も多く、見るだけで楽しい気分になると喜ばれていた。 ・ 桜の開花時期と重なり、大変良かった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・鯉のぼり掲揚が恒例となり、公園での掲揚を楽しみにされている方が多い。	広報	⑤事業の周知	A	B	・鯉のぼり掲揚事業について、まちだよりやLINE、Facebookでも広報した。
	②住民の参加	A	A	・地域貢献活動としてのボランティア参加も定着してきた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・子どもの成長を願う思いが、目に見える形で実現される取組であるので妥当である。	事業の効果		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	・河川愛護会の方々には設置作業や撤去作業に協力をいただいた。		事業継続の必要性			④有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・3月下旬は、強風による影響を受けやすいので、鯉のぼり設置や設置後の安全管理のため、令和7年度より設置時期を4月に行うことにした。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応		未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応		未 ・ 済

[6] その他の事業

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業（広報部会）		実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～															
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の役割や活動に対する地域住民の理解を深め、まちづくりへの参画につなげることを目的とする。															
事業内容・手段	「加納地域まちづくり協議会だより」の発行 【実施時期】 年3回（6月・12月・3月）発行 【部数】 各5,000部 【規格】 A4サイズ両面カラー印刷（8P構成） 【内容】 ・事業内容の周知やPR活動報告のほか、地域で活躍する個人の紹介も取り入れて掲載した。 ・幅広い世代に読んでもらえるように、分かりやすく読みやすい紙面づくりを心がけた。 【配付方法】 ・自治会加入世帯は、自治会を通して各世帯に配付した。 ・清武総合支所や宮崎市社会福祉協議会清武支所、宮崎市清武文化会館、四季の夢、その他の公共機関、事業所、近隣の大学等に設置し、配付や回覧等を依頼した。 ・事業内容によっては、福祉施設や児童センター、保育所等にも設置、小・中学校等には、PTA戸数で配付した。 ・他地域のまちづくり推進委員会にも送付し、お互いの取組についての情報交換に役立てた。															
事業費	138,210円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>3人</td><td>5人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>10人</td><td>10人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>13人</td><td>15人</td></tr></table> ※一般からの写真データの提供者数を付加				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	3人	5人	スタッフ	10人	10人	合 計	13人	15人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	3人	5人														
スタッフ	10人	10人														
合 計	13人	15人														
住民の声（アンケートの結果等）																

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度						本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・まちづくりの事業だけでなく、地域内の取組も知りたいといった声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	・各事業や地域の情報等を発信したり、まちづくりのPRとして諸会合でも周知材料として配布した。		
	②住民の参加	A	A	・掲載記事の一部に住民から寄せられた写真を使用した。			A	A		・8ページの紙面によって、各事業の案内や報告等、詳しく紹介することができた。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちだより発行を通して、各事業の発信や地域との連携等の推進を図ることにつながっていることから、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	・写真を活用した紙面づくりを心掛け、地域住民からも喜ばれている。		
	④各種団体との連携	A	A	・各団体や事業所、小中学校等にもまちだよりの設置や配付をし、相互の連携を図るようにしている。			事業継続の必要性			④有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・他地域のまちづくり推進委員会等に広報紙を送付したり、イベント時にも参加者に配布したりするようにした。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済		
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済		

事業名	まちづくり計画推進事業		(事務局)	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度			終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～																
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりの実現に向けて、まちづくり協議会の認知度を向上させ、部会員や支援者を増やすことや各種団体との連携強化につなげることを目的とする。																
事業内容・手段	「住民主体のまちづくりのための計画推進」の実施 【時期】 通年 【内容】 ・事業開催時や街頭キャンペーン時に部会員や青パト隊員の募集チラシの配布等のPR活動を行った。 ・まちづくり協議会の事業や取組の周知活動として、他の推進委員会等にまちだよりやチラシ等を進呈し、情報交換を行った。 ・地域住民に地域内で撮影した写真を公募し、採用した写真をもとにフォトカレンダーを作成した。令和7年度まちづくりフォトカレンダーとして、12月末に各世帯に配付し、公共機関や地域内の事業所等にも設置した。 ・熊本県人吉市の豪雨災害復興からの復興に係る取組についての研修プログラムを利用して視察研修を実施した。 ・新部会員の方にまちづくりTシャツを進呈し、各事業では着用いただいた。																
事業費	393,665円																
対象者	加納地域住民																
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>8人</td><td>7人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>15人</td><td>15人</td></tr><tr><td>合計</td><td>23人</td><td>22人</td></tr></table> ※まちづくりフォトカレンダーへの参加者及び 視察研修への参加者等の延べ人数					年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	8人	7人	スタッフ	15人	15人	合計	23人	22人
年度	令和6年度	令和5年度															
一般参加者	8人	7人															
スタッフ	15人	15人															
合計	23人	22人															
住民の声 (アンケートの結果等)	特にアンケートは取っていない。																

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度						本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	B	B	・カレンダー写真の応募チラシを各世帯や中学校、事業所等に配付するとともに、Facebookや公式LINEも活用した。		
	②住民の参加	B	B	・まちづくりフォトカレンダーの写真を住民から募集した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・先進的な取組をしている行政や施設で学んだことをアイデアの一つとして事業に活用できた。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・各事業の開催時にPR活動の機会を設けることで、幅広い人材の協力を求めることができることから、妥当である。	事業の効果		⑦住民の満足度	B	B	・視察研修で学んだ地域防災のことを活かして、住民への防災意識向上に役立てたい。	
	④各種団体との連携	A	A	・様々な機会を活用して周知活動を行い、各団体との連携を図るようにした。		事業継続の必要性			④有 ・ 無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・地域住民から応募のあった写真を使ってカレンダーを作成し、令和7年版（1月から12月まで）を12月末に配布した。									
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応		未 ・ 済		
	＜意見への対応＞										
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応		未 ・ 済		
	＜意見への対応＞										

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)	実施年数	15年目																					
事業期間	開始：平成22年度		終了：なし																						
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～																								
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを目指し、各部会や諸団体と連携して円滑な事業運営や備品の整備・管理を行うことを目的とする。																								
事業内容・手段	「まちづくり協議会管理運営」の実施 【時期】 通年 【場所】 加納地区交流センター内 加納地域まちづくり協議会事務局 【内容】 ・運営委員会13回、三役会4回、各部会等計24回、自治会長等との意見交換会2回、他団体との会議や打ち合わせを3回実施した。 ・まちづくり協議会と各種団体等とのスムーズな連携を図るよう連絡調整を行い、事業の運営に当たった。 ・事務局内の備品整理や適切な会計管理を行い、円滑な事業運営の実施に努めた。 ・LINEやFacebook等を活用し、事業や各部会の活動等の情報発信を行ったり、各部会の連絡調整や意見の集約にも活用した。																								
事業費	744,962円																								
対象者	加納地域まちづくり協議会会員及び関係団体																								
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>総 会</td><td>70人</td><td>80人</td></tr><tr><td>役員会等</td><td>150人</td><td>160人</td></tr><tr><td>意見交換会</td><td>60人</td><td>64人</td></tr><tr><td>各部会等</td><td>350人</td><td>410人</td></tr><tr><td>部会員会議</td><td>73人</td><td>77人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>703人</td><td>791人</td></tr></table> ※年間の延べ人数				年 度	令和6年度	令和5年度	総 会	70人	80人	役員会等	150人	160人	意見交換会	60人	64人	各部会等	350人	410人	部会員会議	73人	77人	合 計	703人	791人
年 度	令和6年度	令和5年度																							
総 会	70人	80人																							
役員会等	150人	160人																							
意見交換会	60人	64人																							
各部会等	350人	410人																							
部会員会議	73人	77人																							
合 計	703人	791人																							
住民の声（アンケートの結果等）	・特にアンケート等は取っていない。																								

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	A	B	・まちだよりや掲示ポスター、Facebookなどにより広報活動を行ったが、会員同士の連絡にはLINEも活用することが多かった。
	②住民の参加	B	B						
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・地域内の自治会、各団体、各学校等を繋げる役割を果たすためにも妥当である。		⑦住民の満足度	B	B	・各部会の事業等について、SNS等で発信することも増え、それに対する反応も以前より多くなってきた。
	④各種団体との連携	A	B	・各団体や自治会との意見交換会を2回開催できたことは大変効果的だった。各団体との連携を強め、住民の参加を広げていきたい。					
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・事業の反省や意見の収集、日程調整等もLINEで行うことで各部会の回数を減らし、負担軽減につながるようにした。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	381,765	
2	繰越金	210,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	591,765	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	216,665	消耗品費(啓発グッズ他) 57,200 円 燃料費(車両関係) 125,787 円 食糧費(お茶・飴他) 29,408 円 印刷費(チラシ) 4,270 円
5	役務費	98,100	リース車任意保険料(年間) 89,830 円 リース車任意保険料(車両変更による追加料金) 7,000 円 振込手数料 1,270 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	277,000	車両リース料(4～8月) 99,900 円 車両リース料(9～3月) 177,100 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	591,765	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)
-----	------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	107,060	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	207,060	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	202,570	消耗品費(おわん・ポリ袋他) 15,868 円 消耗品費(子ども安全免許証発行用紙料) 2,750 円 食糧費(お弁当・お茶) 57,970 円 賄材料費(ふるまい豚汁材料) 15,129 円 参加賞(防災グッズ・ウェットティッシュ・お菓子他) 94,547 円 印刷費(チラシ) 15,590 円 燃料費(ガソリン) 716 円
5	役務費	2,490	ボランティア行事保険・振込手数料 2,490 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	2,000	自家用車借用料 2,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	207,060	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	17,114	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	67,114	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	64,399	消耗品費(草刈替え刃・手提げ袋他) 33,544 円 参加賞(ティッシュ) 7,630 円 燃料費(混合油) 895 円 印刷費(チラシ) 4,660 円 食糧費(お茶・パン) 17,670 円
5	役務費	2,715	ボランティア行事保険料 2,520 円 振込手数料・コンビニ決済手数料 195 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	67,114	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)
-----	-------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	74,687	
2	繰越金	70,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金	44,500	寄せ植え教室(参加者負担金)
6	雑収入		
7	合計(A)	189,187	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	9,900	寄せ植え教室講師謝礼金 9,900 円
3	旅費		
4	需用費	143,457	消耗品費(寄せ植え教室材料費) 63,800 円 消耗品費(苗・種他) 42,226 円 食糧費(軽食・お茶他) 21,828 円 燃料費 8,123 円 印刷製本費(チラシ) 7,480 円
5	役務費	830	ボランティア行事用保険 560 円 振込手数料・コンビニ決済手数料 270 円
6	委託料	20,000	しだれ桜剪定料 20,000 円
7	使用料及び賃借料	15,000	機材借用料(トラクター・草刈り機他) 15,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	189,187	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	ひなたdeマルシェ開催事業	(マルシェ実行委員会)
-----	---------------	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	304,892	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金	28,000	出店者からの協賛金
5	負担金	169,390	加納地区交流センターと折半分(印刷費・ステージ設営費)
6	雑収入	114,875	野菜の売上金
7	合計(A)	717,157	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	貸金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	389,307	消耗品費(レジ袋・容器・防水スプレー他) 10,005 円 消耗品費(お楽しみ抽選会景品他) 92,810 円 消耗品費(横断幕・風船・ヘリウムガス他) 72,670 円 消耗品費(野菜仕入れ) 118,672 円 食糧費(お弁当・お茶) 80,780 円 印刷費(チラシ・ポスター) 14,370 円
5	役務費	10,050	申請手数料(保健所他) 3,770 円 賠償・レクリエーション保険 6,280 円
6	委託料	313,800	音響設営費 30,000 円 ステージ設営費 283,800 円
7	使用料及び賃借料	4,000	自家用車借用料 4,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	717,157	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	イルミネーション事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	108,861	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	158,861	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	152,456	消耗品費(結束バンド・ビニールテープ他) 5,747 円 消耗品費(イルミネーションライト・キャンドルライト他) 119,376 円 食糧費(お弁当・パン他) 12,562 円 消耗品費(お菓子他) 12,771 円 チラシ印刷 2,000 円
5	役務費	1,405	振込手数料・コンビニ決済手数料 1,405 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	5,000	自家用車及び機材借用 5,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	158,861	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)
-----	------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	113,485	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	113,485	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	15,000	謝金(3名分) 15,000 円
3	旅費		
4	需用費	96,590	食糧費(お茶・パン) 29,827 円 印刷費(チラシ) 21,295 円 消耗品費(参加賞・賞品) 41,378 円 消耗品費(養生テープ他) 4,090 円
5	役務費	895	ボランティア行事用保険 700 円 コンビニ決済手数料 195 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,000	自家用車借用 1,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	113,485	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	27,644	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	77,644	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	21,000	謝金(船引神楽保存会) 21,000 円
3	旅費		
4	需用費	54,974	印刷費(チラシ・ポスター) 9,490 円 消耗品費(ビニール袋他) 638 円 食糧費(お茶・お弁当他) 19,182 円 参加賞(お菓子・せんぐ撒き用お餅他) 25,664 円
5	役務費	1,670	振込手数料・コンビニ決済手数料 270 円 ボランティア行事用保険 1,400 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	77,644	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	5,020	
2	繰越金	5,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	10,020	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	9,825	消耗品費(砂・番線・釘他) 7,825 円 鯉のぼりチラシ 2,000 円
5	役務費	195	コンビニ決済手数料 195 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	10,020	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	(広報部会)
-----	---------------------	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	58,210	
2	繰越金	80,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	138,210	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	137,450	印刷製本費(43号 5,000部 8ページ) 45,590 円 印刷製本費(44号 5,000部 8ページ) 45,930 円 印刷製本費(45号 5,000部 8ページ) 45,930 円
5	役務費	760	振込手数料 760 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	138,210	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり計画推進事業	(事務局)
-----	-------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	313,665	
2	繰越金	80,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	393,665	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	謝金(マイクロバス運転) 10,000 円
3	旅費	185,800	旅費(宿泊費10,900×12名) 130,800 円 旅費(日当2,200×12名×2日) 52,800 円 旅費(日当2,200×1名×1日) 2,200 円
4	需用費	92,865	消耗品費(まちづくりTシャツ部会員用) 53,196 円 印刷費(カレンダー・チラシ) 22,748 円 消耗品費(参加賞) 9,420 円 燃料費(軽油・ガソリン代) 7,501 円
5	役務費	270	振込手数料・コンビニ決済手数料 270 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	50,730	マイクロバスレンタル料(2日間) 47,300 円 高速料金 3,430 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	負担金	54,000	施設観覧料及び資料代(人吉球磨防災学習プログラム) 54,000 円
12	公課費		
13	合計(B)	393,665	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)
-----	----------------	-------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	486,252	
2	繰越金	257,861	
3	自己資金	849	利息(8月・2月)
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	744,962	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	備 考
1	賃金		
2	手当	148,595	時間外手当(2名分) 148,595 円
3	旅費	55,000	費用弁償(役員経費@3,000円×18名) 54,000 円 費用弁償(1名分) 1,000 円
4	需用費	242,906	消耗品費(コピー用紙・封筒・文具代他) 101,341 円 消耗品費(事務用椅子2脚) 18,228 円 消耗品費(コピー機カウンター料) 62,021 円 食糧費(お茶) 61,316 円
5	役務費	173,681	通信運搬費(はがき・切手代) 31,968 円 通信運搬費(電話代・インターネット利用料) 76,823 円 ボランティア保険料 @350円×179名分 62,650 円 行事保険料 2,240 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	108,900	コピー機リース料 108,900 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	15,880	デジタルカメラ 15,880 円
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	744,962	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年 5月 15日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市清武町加納乙1047番地
名称 加納地域まちづくり協議会
代表者の氏名 会長 中原 健一 印
電話番号 0985-84-0500

令和6年6月17日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において、746,377円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和6年度収支決算（見込）書

令和 7 年 3 月 3 1 日

令和 6 年度 加納地域まちづくり協議会への意見書 [事業実施報告]

清武地域自治区地域協議会
会長 野田 三津枝

令和 6 年度の加納地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

記

1 総括

地域住民の生活意識向上のため、地域にあったまちづくり活動を実施されている。

なお、地域住民がより一層まちづくりに参画されるよう、今後も事業の周知方法や他団体との連携について検討をお願いしたい。

2 事業の推進体制

特になし。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
	特になし。

4 その他

特になし。